
 **CEOP衛星データセット**
(ADEOS-II > GLI > 3COPIE)

1. 識別情報

名称	CEOP衛星データセット (ADEOS-II > GLI > 3COPIE)
版	1.0
略称	Coordinated Energy and Water-Cycle Observation Project Satellite Datasets (ADEOS-II > GLI > 3COPIE)
DOI	doi:10.20783/DIAS.87 [http://doi.org/10.20783/DIAS.87]
メタデータID	CEOP_Satellite_ADEOS_II_GLI_3COPIE20190319143730-DIAS20180903143952-ja

2. 問い合わせ先

2.1 データセットに関する問い合わせ先

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
住所	日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1
電話番号	+81 50 3362 3064
ファクシミリ番号	+81 29 868 2961
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

2.2 プロジェクトに関する問い合わせ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
住所	日本, 105-0001, 東京都, 港区, 虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	JAXA DIAS 担当
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

4. データ作成者

名前	JAXA DIAS 担当
----	--------------

組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	dias at ml dot jaxa dot jp

5. ドキュメント作成年月日

2019-03-19

6. データ作成年月日

creation : 2010-03-15

7. データセット概要

7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子ヘリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ1で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ2の2007年以降である。出力データの対象領域は35地点（フェーズ1の場合）もしくは52地点（フェーズ2の場合）のリファレンスサイト、5箇所のモンスーン領域および全球の3タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ。

Enhanced Observing Period EOP-3: 01/10/2002 - 30/09/2003

EOP-4: 01/10/2003 - 31/12/2004

■衛星

ADEOS-II（みどりII）

【正式名称】 Advanced Earth Observing Satellite-II（環境観測技術衛星）

2002年12月14日に打ち上げられた日本の地球観測衛星。

AMSR、GLI、ILAS-II、SeaWinds、POLDERの5つのセンサを搭載している。

■センサ

GLI

【正式名称】 Global Imager（グローバル・イメージャ）

ADEOS-II搭載センサ。

海域を含めた地球表面及び雲からの太陽反射光あるいは赤外放射光をグローバルかつ高頻度で観測し、クロロフィル濃度、溶存有機物、表面温度、植生分布、植生バイオマス、雪氷分布、雪氷アルベドなどの物理量を測定することを目的とした光学センサ。

海表面温度、海色など海洋のデータを高頻度で得ることに適したセンサ。可視近赤外域（VNIR）に23チャンネル、短波長赤外域（SWIR）に6チャンネル、中間・熱赤外域（MTIR）に7チャンネルを持つ。

■プロダクト

・ Product Level

L3

・ Product Code

3COPIE

・ Description

Cloud optical thickness of ice cloud by emission method

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	2003-04-02
終了日	2003-10-24

7.4 地理的範囲

北限緯度	90
西限経度	-180
東限経度	180
南限緯度	-90

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere > Clouds > Cloud Microphysics > Cloud Optical Depth/Thickness	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

CEOP : <http://www.ceop.net/>

CEOP Model Output Archive : <http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/>

CEOP Model Output Data Gateway : <http://ceop.wdc-climate.de>

CEOP Data Management : <http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/>

CEOP Model Data Gateway : <http://www.mad.zmaw.de/projects-at-md/ceop/>

CEOP Model Center Documentation Table : http://www.eol.ucar.edu/projects/ceop/dm/model/model_table.html

Multi-model Analysis for CEOP : <http://gmao.gsfc.nasa.gov/research/modeling/validation/ceop.php>

MODIS : <http://modis.gsfc.nasa.gov/>

AMSR-E : <http://sharaku.eorc.jaxa.jp/AMSR/index.html>

SSM/I : <http://ghrc.nsstc.nasa.gov/>

PR, TMI : <http://trmm.gsfc.nasa.gov/>

AVNIR2, PALSAR, PRISM : <http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/en/index.htm>

「出典：宇宙航空研究開発機構（JAXA）」 : <http://www.satnavi.jaxa.jp/project/adeos2/index.html>

From CEOS Systems Database : <http://ceos-sysdb.com/CEOS/>

SEO Wiki (Shibasaki Group) : <http://dias.csis.u-tokyo.ac.jp/dict/seo/index.php/ADEOS-II>

SEO Wiki (Shibasaki Group) : http://dias.csis.u-tokyo.ac.jp/dict/seo/index.php/GLI/_Global_Imager

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:87>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. データセット利用制約条項

10.1 データ提供者による利用規約

1. CEOP衛星データの金銭等による引き換えは一切応じない
2. CEOP衛星データの商用および営利目的の使用を禁じる.
3. CEOP衛星データアーカイブから受取ったオリジナルデータの第三者への再配布および転送を禁じる.

4. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること。2001～2004年のデータ利用においては、“本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Enhanced Observing Period (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。また、2005年以降のデータ利用においては、“本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。

5. CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、著者はその成果物のコピーを可能な限り電子媒体にして ceop@monsoon.t.u-tokyo.ac.jp 宛に提出しなければならない。

CEOP衛星データセットのデータポリシー完全版は <http://monsoon.t.u-tokyo.ac.jp/ceop2/satellite/guideline-info.html> である。

CEOP衛星データを使用した学術成果の公開にあたっては、CEOP衛星データの出所を成果物に以下のように表記すること。

2005年以降のデータ利用においては、“本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Energy and Water Cycle Observations Project (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。

また、2001～2004年のデータ利用においては、“本成果で使用した衛星データは、the Coordinated Enhanced Observing Period (CEOP) の枠組みのもとで提供されたものである”。

10.2 プロジェクトデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

DIASのデータ利用ポリシーは、第一にデータ提供機関のデータ利用規約が優先します。データ提供機関が利用規約を定めていない場合は、以下のDIASプロジェクトデータ利用規約が適用されます。

1. 利用者は、データ提供者が示すデータ利用規約がある場合はそれを優先し従うこと
2. 利用者は、DIASデータセットを研究及び教育目的に利用することができる（注1）
3. 利用者は、DIASデータセットの内容を改変しないこと
4. 利用者は、DIASデータセットを第三者に提供しないこと
5. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、データ引用文に掲載されている文章をカッコ書きで引用すること
6. 利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、公表物の写し（論文の場合は別刷り、口頭・ポスター発表の場合は講演要旨のコピー）をDIAS事務局に提出すること

（注1）

データ提供者による利用規約において、営利目的の利用も許諾されるデータセットに関しては、DIASデータセットとしても基本的に営利目的の利用を可能とするよう、現在準備を進めています。個別の問い合わせは、DIAS事務局までお願いいたします。

[DIAS事務局]

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階

一般財団法人リモート・センシング技術センター

DIAS事務局宛

E-mail: dias-office@diasjp.net

10.3 プロジェクト免責事項

10.3.1 データ統合・解析システム

1. DIASは、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても責任を負わない。
2. DIASは、予告なしに本サイト上の情報を変更・削除・提供を中止することがある。
3. DIASは、提供したデータに関する処理・解析作業についてサポートしない。

11 データ引用文

11.1 データ提供者データ引用規約

11.2 プロジェクトデータ引用規約

11.2.1 データ統合・解析システム

利用者は、DIASデータセットを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行う場合は、以下の引用文を謝辞として明記すること。また、データ提供者が示す謝辞の引用文がある場合は、それも併記すること。

” 利用したデータセットは、文部科学省の委託事業により開発・運用されているデータ統合解析システム (DIAS)の下で、収集・提供されたものである。 ”

12. 参考文献

Copyright(c) 2006-2019 Data Integration & Analysis System (DIAS) All Rights Reserved. This project is supported by "Data Integration & Analysis System" funded by MEXT, Japan
--